

絵画や工作 子ども力作

県美術館 教室作品展

松山市と周辺の子どもたちに美術を教えている東雲児童美術教室（武智学代表）の作品展が同市堀之内の県美術館で始まり、元気いっぱい絵や工夫を凝らした工作などが来場者を魅了している。28日まで。

教室は1955年に設立。最近2年に1回展覧会を開いており第53回目。公募展の入选を含む幼児から小学生ら約210人の828点を展示している。幼児の絵画では、トラックいっぱいに野菜や果物を積んだ農家の

おじさん、こいのぼり、アニメのキャラクターなどを思い思いに表現。小学生はイタリアの世界遺産の街の情景を緻密に描写したり、地下に広がるビルのレストランや美術館、恐竜の化石をしっかりと

したデザイン力と空想力で描いたりした作品などが並ぶ。

エンゼル幼稚園（松前町）の上野莉里樺ちゃん（5）は、絵本「ぐるんぱのようちえん」を題材に主人公のゾウや友達を描いた楽しい絵を出展、一緒に訪れた母親に紹介していた。

紙皿のユーモラスなお面、ペットボトルのロボット、ヒオウギ貝に描いたイラストなど力作もずらり。武智代表（47）は「子どもたちが大きな夢や希望を表現した作品展。自ら発見し、考え、工夫する力につながるような教室を続けていきたい」と話した。（高田剣）



楽しい力作が並ぶ東雲児童美術展の会場